

整理番号	事業名
96	北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区推進事業

所管部局
経済部経済企画課

※()の数字は、委員数

所管部局の評価			外部評価	
評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価の妥当性	「妥当でない」と評価した理由
必要性	事業の市民ニーズ	高まっている	妥当(4) 妥当でない(0)	
	市の関与の妥当性	法令・条例等の根拠により関与が妥当	妥当(4) 妥当でない(0)	
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	妥当(0) 妥当でない(4)	<p>○特区全体ではなく、函館市として成果指標が必要ではないか。ビジョンは示されているが、もう少し具体的なロードマップを提示してほしい。どこに向かっているのか、たどり着いた先に何があるのかがわからなければ民間からの参加継続も難しくなってしまう。</p> <p>○成果の数値化・見える化。</p> <p>○事業費が足りないのでは。</p> <p>○函館市としての成果指標を検討してほしい。</p> <p>○今後は函館独自の個別、具体的な成果指標を策定してほしい。</p>
	事業目的実現のための手段	現手段が最適	妥当(2) 妥当でない(2)	
コスト・負担	コストの節減度	節減できている	妥当(4) 妥当でない(0)	<p>○減らすのではなく、必要であれば増やすことを選択肢から外さないでほしい。他地区との連携事業であるメリットを活かすには当然旅費も発生する。予算を減らすことによって情報が減ることにつながっては本末転倒である。</p> <p>○市の将来を左右する事業であり、ビジョンを明確化して、増額すべき。</p> <p>○商談会やセミナーについて、他地域の取り組みも参考にして、積極的に実施してもらいたい。</p>
	将来コスト増減見込み	現在と変わらない	妥当(1) 妥当でない(3)	
	受益者負担の適正度	評価対象外	コストについては、会議を書面で行うなど旅費や関係経費の削減に努めている	
執行方法	外部委託の可能性	不可能	妥当(3) 妥当でない(1)	<p>○マーケティングを外注してはどうか。</p> <p>○フード特区の統括を行う北海道食産業総合振興機構への強力な働きかけが必要。</p>
	実施方法の効率性	図られている(今後の改善は難しい)	妥当(3) 妥当でない(1)	

所管部局による今後の改善策	
基本方針	現行どおり



今後の改善策について	意見・提言
<p>①現行どおり (1) ②改善(3)</p> <p>③当面現状維持(0) ④廃止(0)</p>	<p>○積極的に事業内容を改善してもらいたい。</p> <p>○函館の中小水産企業は、海外輸出に対する関心が希薄であったり、有効な手段を持たないと思われるので、海外での販路拡大のためのセミナーや商談会を継続的に開催してほしい。</p> <p>○函館の将来を見据えた事業化へのバックアップを望む。</p> <p>○明確な数値目標とビジョンがあれば予算増も可能。</p> <p>○この事業は「食の分野」に北海道の生き残りを賭けた挑戦であり、その期待値からすると、予算も含めてもっと力を注いでも良いと思う。</p> <p>○フード特区を市民にわかりやすく説明して欲しい。</p>
<p>外部評価委員会としての提言</p> <p>改善</p>	

